

資料 2

獣医学教育の改善・充実に
関する調査研究協力者会議
(第9回)H25.1.31

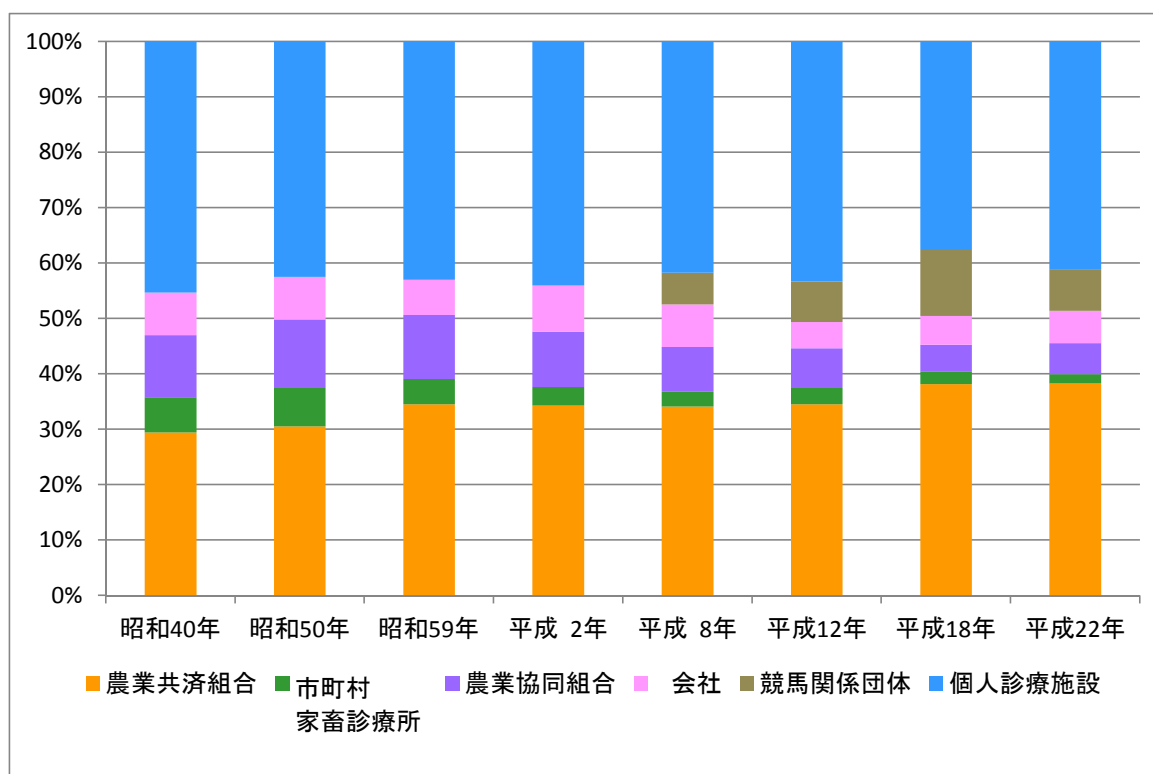
産業動物診療獣医師をめぐる環境について

平成 25 年 1 月 31 日

宮島成郎

1. 産業動物診療獣医師数の推移

	農業共済組合	市町村家畜診療所	農業協同組合	会社	競馬関係団体	個人診療施設	計 (A)	全国獣医師 (B)	産業動物獣医師の割合 (A) ÷ (B) (%)
昭和40年	1,643	353	628	429	-	2,530	5,583	19,794	28.2
昭和50年	1,512	346	613	379	-	2,109	4,959	22,853	21.7
昭和59年	1,803	239	604	332	-	2,251	5,229	25,655	20.3
平成 2年	1,806	177	526	439	-	2,324	5,272	27,296	19.4
平成 8年	1,834	145	435	414	306	2,247	5,381	29,301	18.4
平成12年	1,685	145	350	231	359	2,118	4,888	30,447	14.9
平成18年	1,704	105	212	234	532	1,682	4,469	35,818	11.0
平成22年	1,721	75	253	261	332	1,855	4,497	35,379	11.9

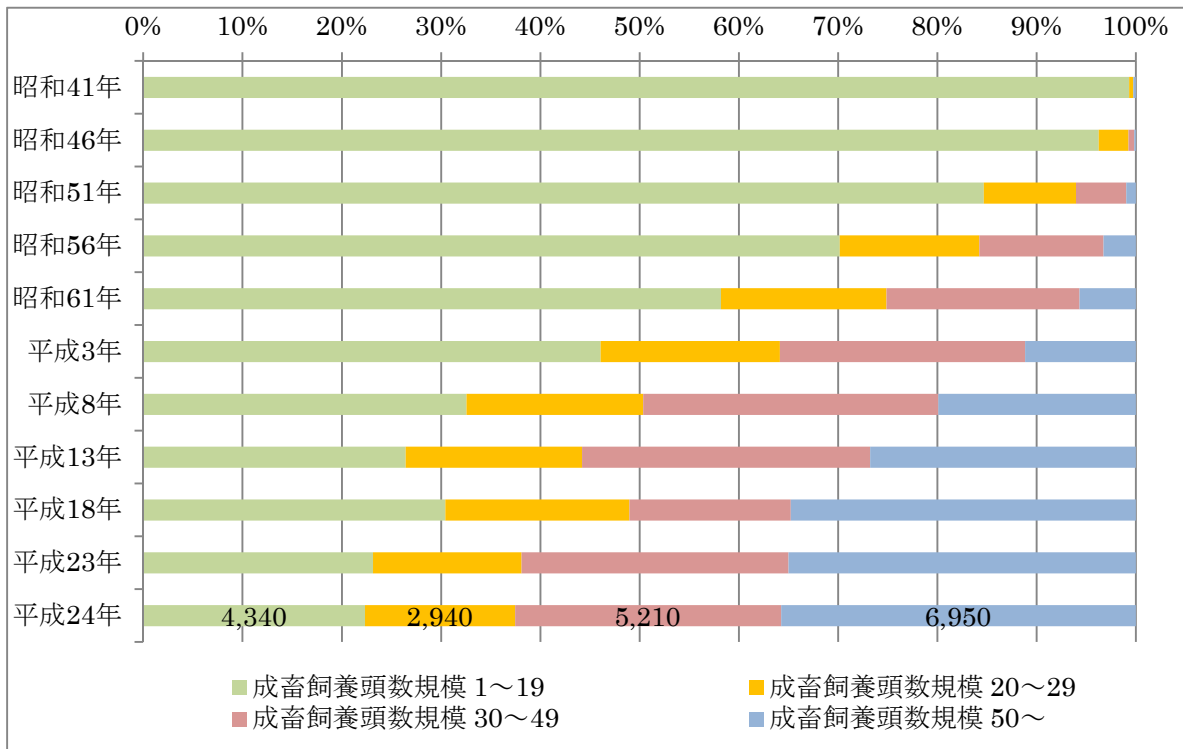


2. わが国の主な家畜飼養状況の推移

(乳用牛)

乳用牛	飼養戸数（千戸）	飼養頭数（千頭）	1戸当たり頭数（頭）
昭和11年	32	104	3.2
昭和21年	48	93	1.9
昭和31年	283	494	1.7
昭和36年	413	885	2.1
昭和41年	361	1,310	3.6
昭和46年	279	1,856	6.6
昭和56年	106	2,104	19.8
昭和60年	82	2,111	25.6
平成2年	63	2,058	32.7
平成7年	44	1,951	44.3
平成12年	34	1,764	52.5
平成17年	28	1,655	59.7
平成22年	22	1,484	67.8
平成23年	21	1,467	69.9
平成24年	20	1,449	72.1

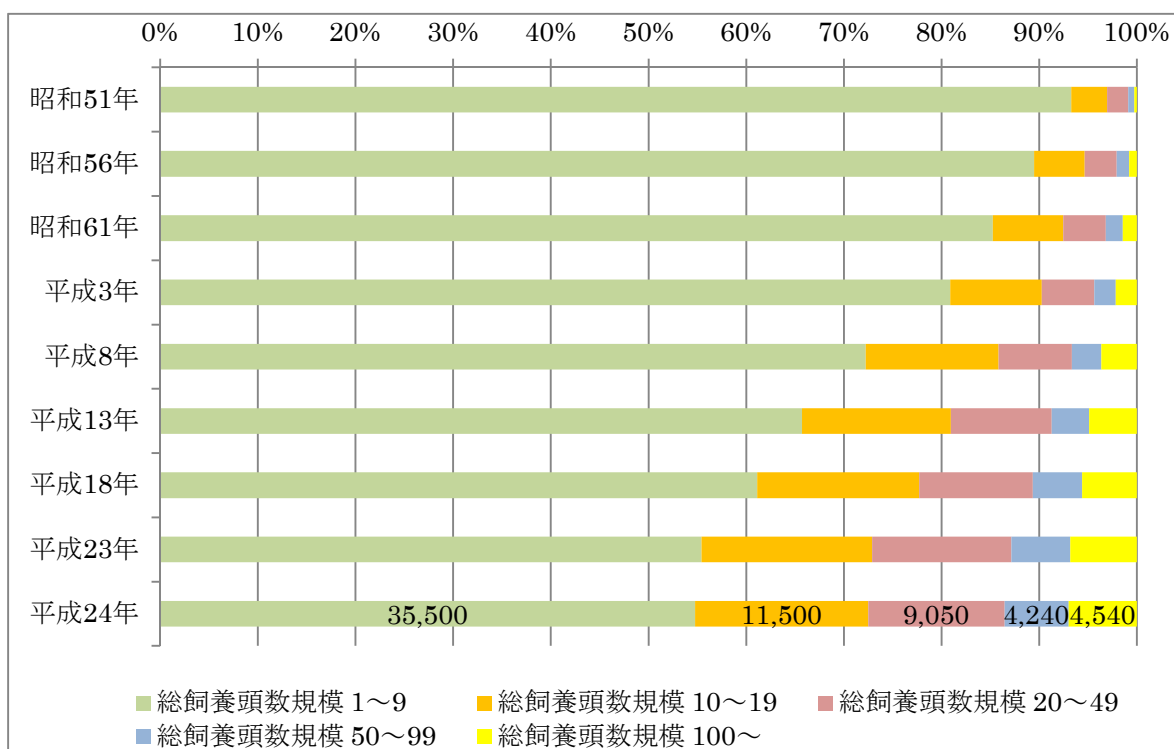
(参考) 飼養規模別飼養戸数の推移



(肉用牛)

肉用牛	飼養戸数（千戸）	飼養頭数（千頭）	1戸当たり肉用牛頭数（頭）
昭和11年	1,321	1,350	1.0
昭和21年	1,710	1,826	1.1
昭和31年	2,319	2,718	1.2
昭和36年	1,963	2,313	1.2
昭和41年	1,163	1,577	1.4
昭和46年	797	1,759	2.2
昭和56年	353	2,281	6.5
昭和60年	298	2,587	8.7
平成2年	232	2,702	11.6
平成7年	170	2,965	17.5
平成12年	117	2,823	24.2
平成17年	90	2,747	30.7
平成22年	74	2,892	38.9
平成23年	70	2,763	39.7
平成24年	65	2,723	41.8

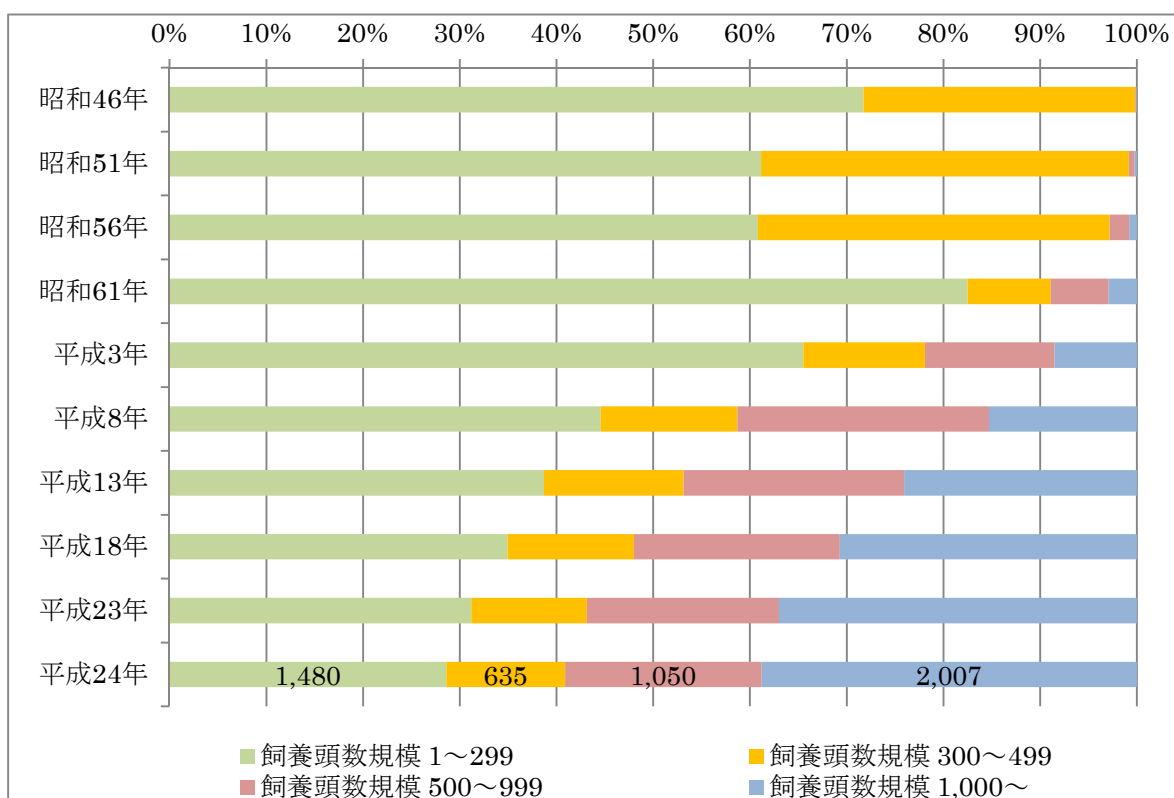
(参考) 飼養規模別飼養戸数の推移



(豚)

豚（子取り用 雌、肥育他）	飼養戸数（千戸）	飼養頭数（千頭）	1戸当たり頭数（頭）
昭和 11 年	516	950	1.8
昭和 21 年	61	100	1.6
昭和 31 年	653	1,546	2.3
昭和 36 年	908	2,604	2.8
昭和 41 年	714	5,158	7.2
昭和 46 年	398	6,904	17.4
昭和 56 年	127	10,065	79.3
昭和 60 年	83	10,718	129.1
平成 2 年	43	11,817	272.3
平成 7 年	19	10,250	545.7
平成 12 年	12	9,806	838.1
平成 18 年	8	9,620	1,223.3
平成 22 年	7	9,899	1,436.7
平成 23 年	6	9,768	1,625.3
平成 24 年	6	9,735	1,666.9

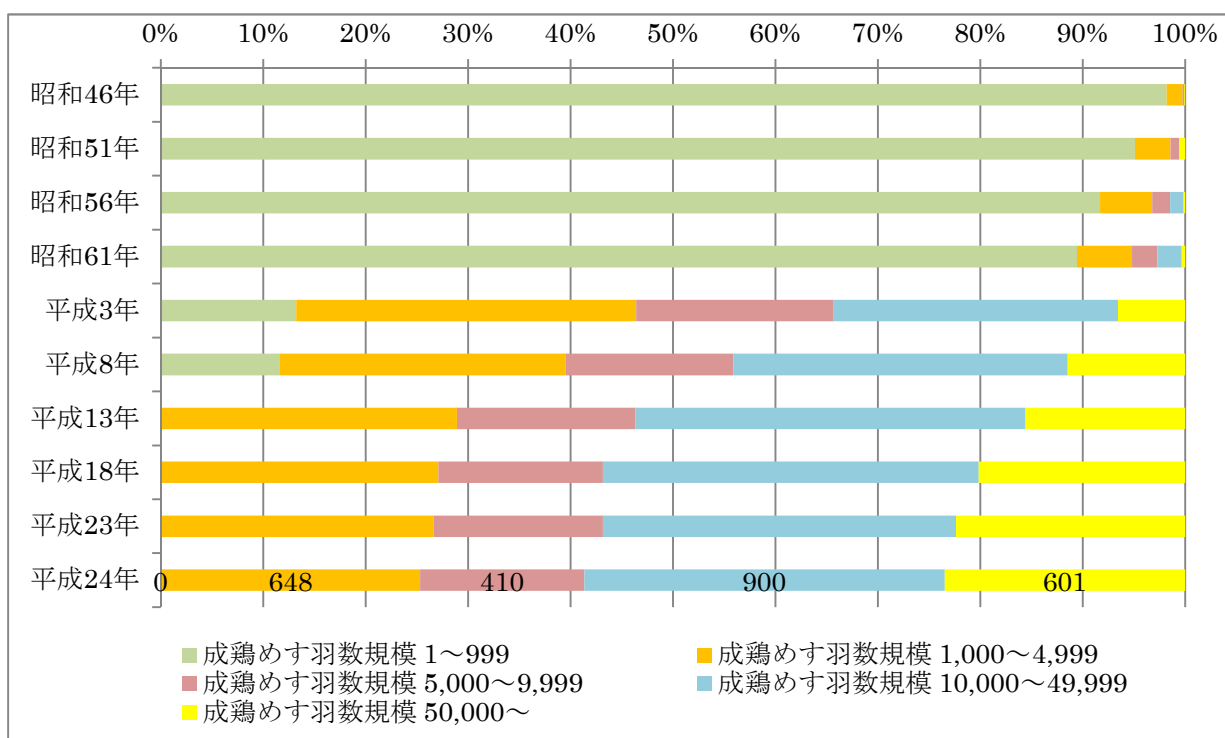
(参考) 飼養規模別飼養戸数の推移



(採卵鶏)

採卵鶏 (成鶏めす)	飼養戸数(戸)	成鶏めす飼養羽数(千羽)	1戸当たり飼養羽数(羽)
昭和11年	2,779,900	50,879	18
昭和21年	3,022,000	16,376	5
昭和31年	4,158,500	45,341	11
昭和36年	3,805,600	84,855	22
昭和41年	2,753,000	81,240	30
昭和46年	1,368,000	123,906	91
昭和56年	186,500	121,822	653
昭和60年	123,100	127,596	1,037
平成2年	86,500	136,961	1,583
平成7年	7,310	146,630	20,059
平成12年	4,890	140,365	28,704
平成18年	3,530	136,425	38,547
平成22年	3,110	139,910	44,987
平成23年	2,930	137,352	46,878
平成24年	2,810	135,477	48,212

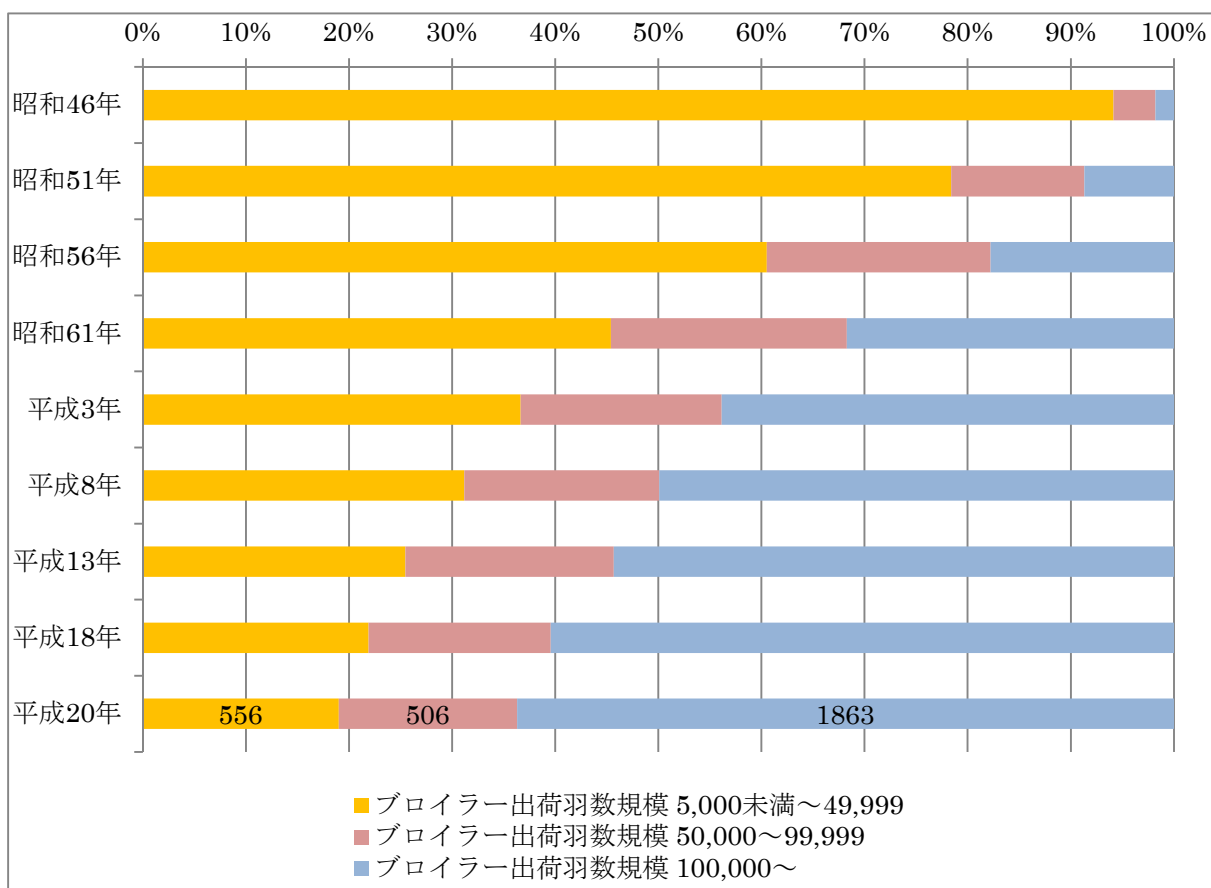
(参考) 飼養規模別飼養戸数の推移



(ブロイラー)

ブロイラー	飼養戸数 (戸)	飼養羽数 (千羽)	1戸当たり飼養羽数 (千羽)
昭和41年	19,160	21,920	1.1
昭和46年	17,740	63,114	3.6
昭和56年	8,309	131,252	15.8
昭和60年	7,025	150,215	21.4
平成2年	5,529	150,445	27.2
平成7年	3,853	119,682	31.1
平成12年	3,082	108,410	35.2
平成17年	2,652	102,277	38.6
平成21年	2,392	107,141	44.8

(参考) 飼養規模別飼養戸数の推移

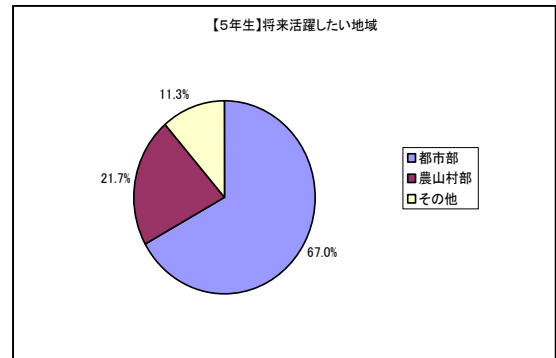
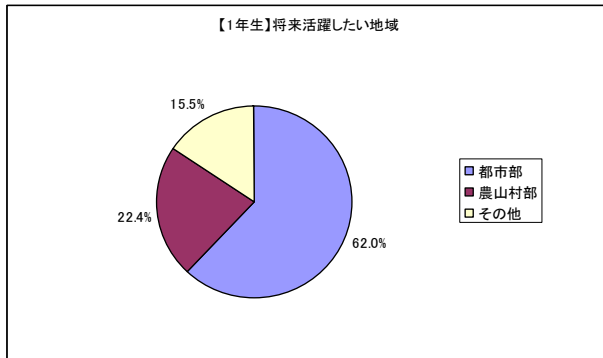


3. 獣医関係大学卒業者の就職状況

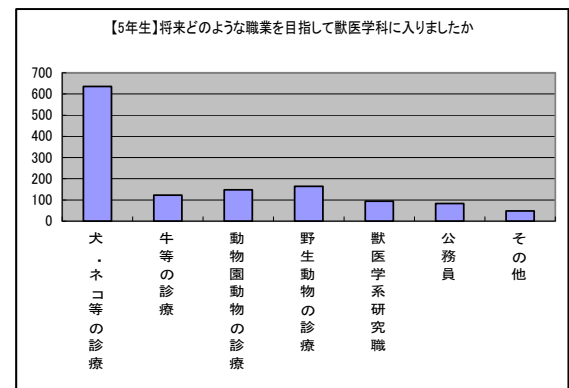
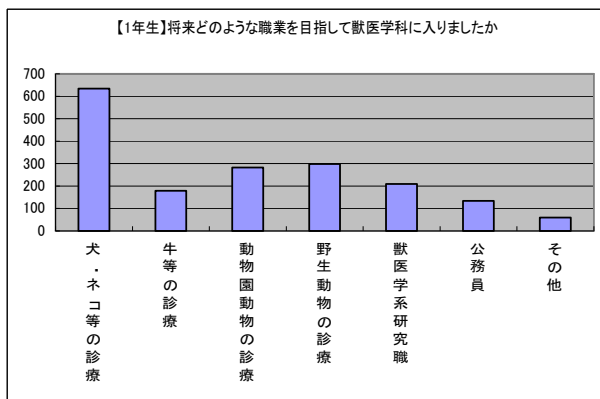
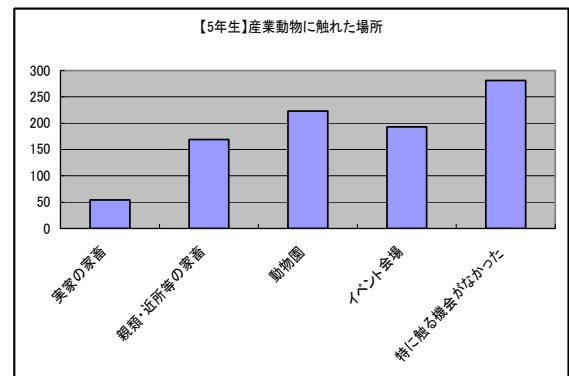
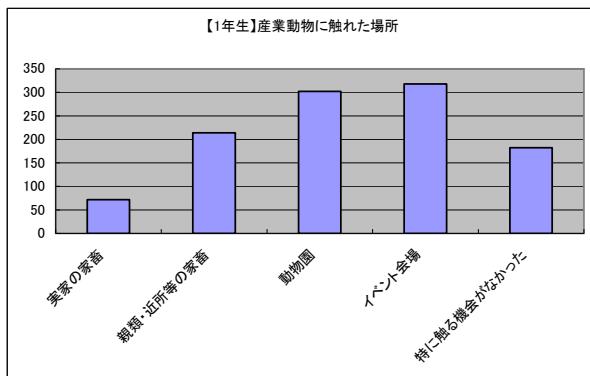
区分		年度				
		昭和50	60	平成2	17	23
国	農林畜産	4	16	20	19	11
	公衆衛生	9	4	5	2	1
	その他	10	1	3	0	1
	小計	23	21	28	21	13
		2.3%	2.1%	2.8%	1.9%	1.2%
都道府県	農林畜産	51	106	89	36	73
	公衆衛生	76	97	68	37	54
	その他	7	1	3	1	22
	小計	134	204	160	74	149
		13.3%	20.0%	15.9%	6.8%	13.8%
市町村	農林畜産	10	4	10	3	3
	公衆衛生	14	20	13	28	34
	その他	5	1	2	5	4
	小計	29	25	25	36	41
		2.9%	2.4%	2.5%	3.3%	3.8%
独立行政 法人	農林畜産				0	1
	その他(教育関係含む)				0	12
	小計				0	13
				0.0%	1.2%	
会社		108	172	205	64	77
		10.7%	16.8%	20.3%	5.9%	7.2%
農業関係 団体	農業協同組合	46	21	18	8	13
	農業共済組合	69	95	66	58	67
	その他	0	6	1	0	0
	小計	115	122	85	66	80
		11.4%	11.9%	8.4%	6.1%	7.4%
個人診療	産業動物	11	6	5	3	4
	愛玩動物	133	240	256	518	459
	産業・愛玩動物			12	11	2
	小計	144	246	273	532	465
		14.3%	24.1%	27.1%	49.2%	43.2%
その他	競馬関係団体	11	8	12	7	6
	私立大学法人研究所等	77	62	47	51	25
	進学	167	57	51	76	79
	その他	199	105	123	154	128
	小計	454	232	233	288	238
		45.1%	22.7%	23.1%	26.6%	22.1%
合計		1,007	1,022	1,009	1,081	1,076
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

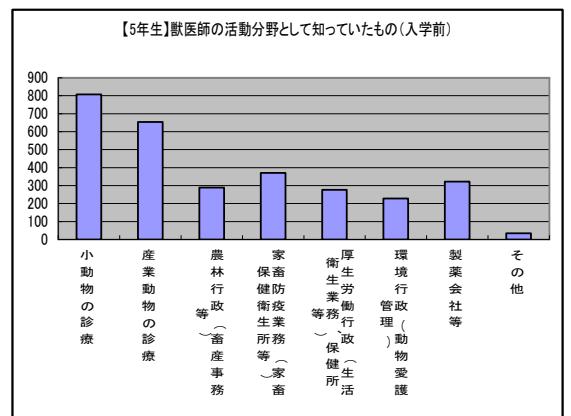
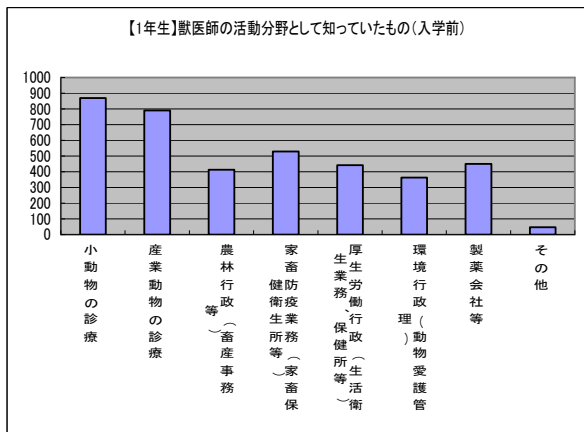
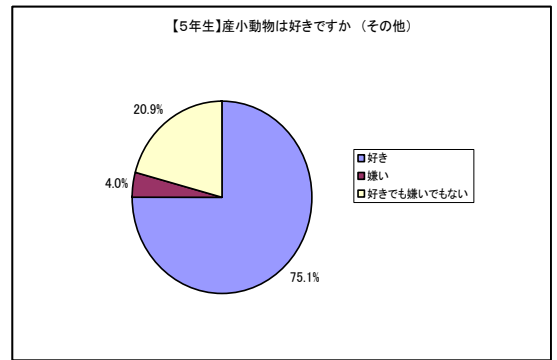
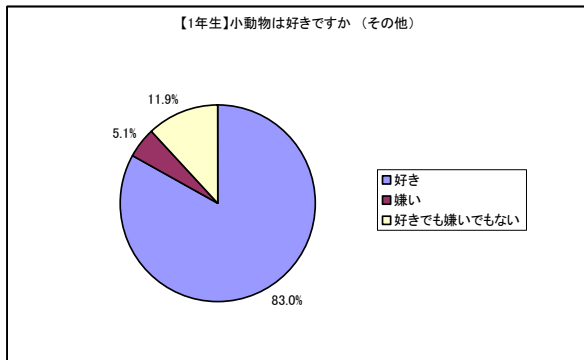
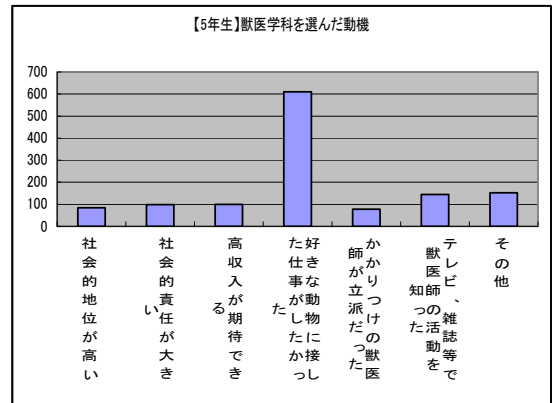
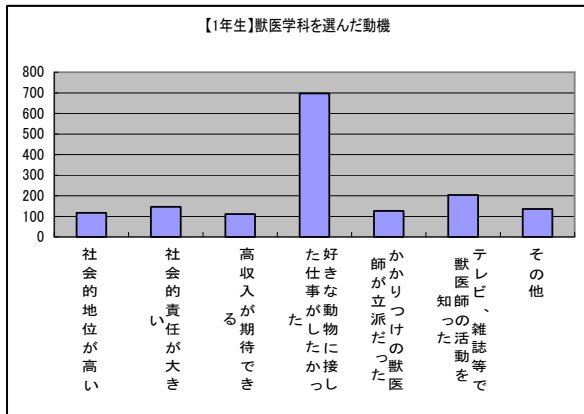
4.産業動物の獣医療に関する獣医学生の意識について (平成19年11月～12月)

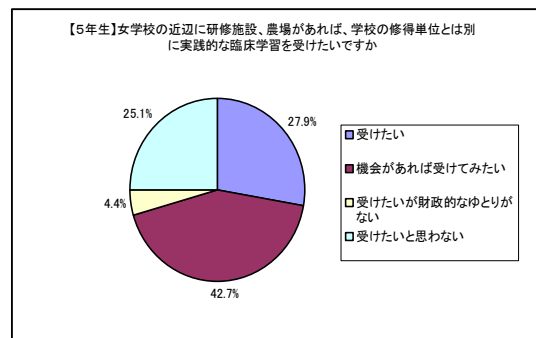
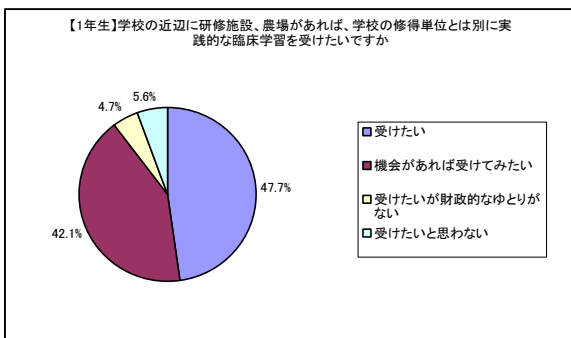
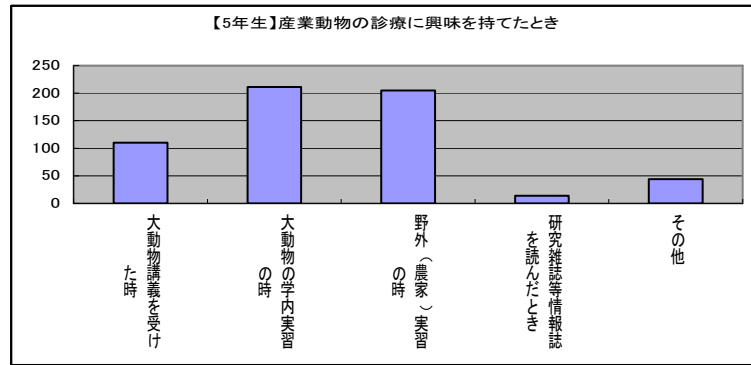
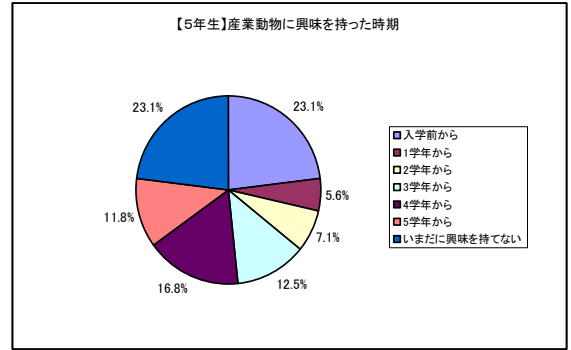
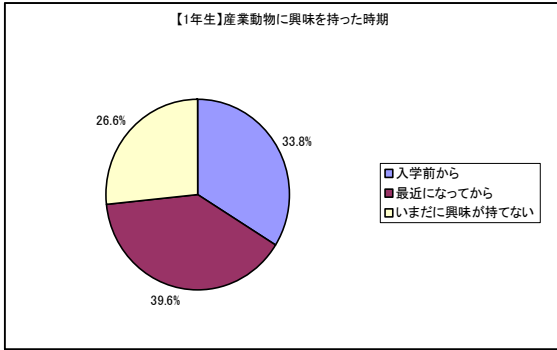
活躍したい地域別の割合（1年生：882名（N=896名）；5年生：825名（N=832名）

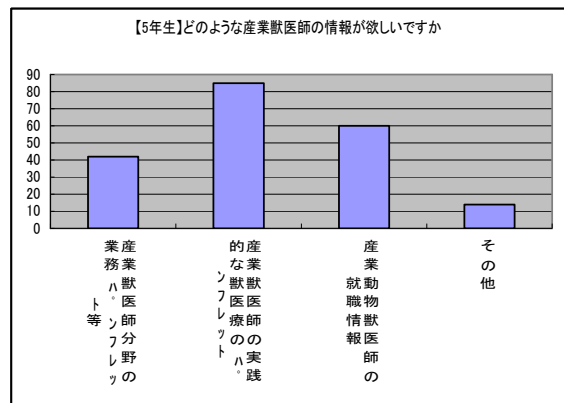
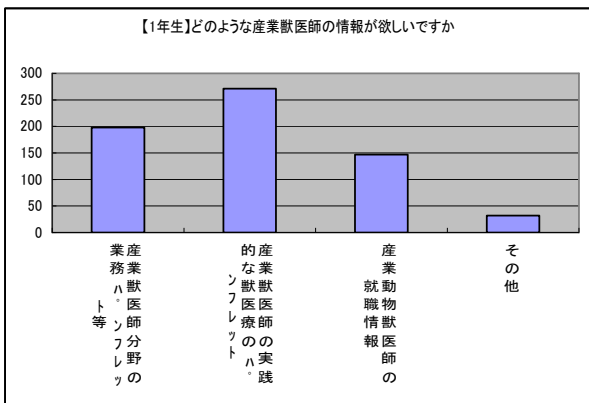
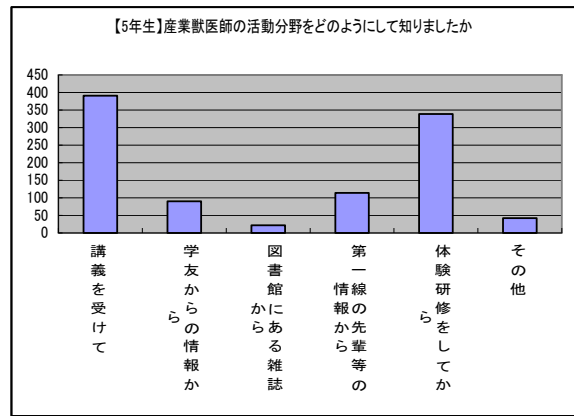
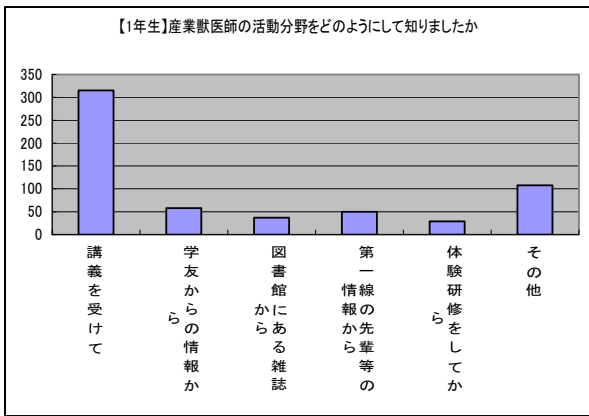
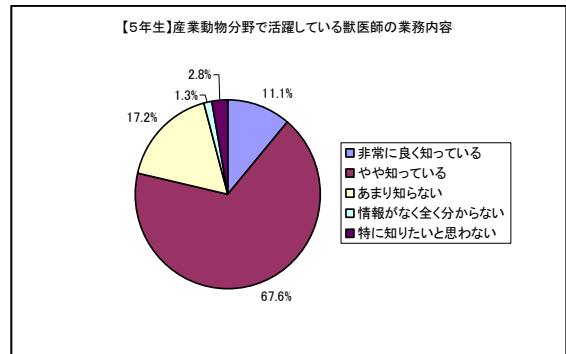
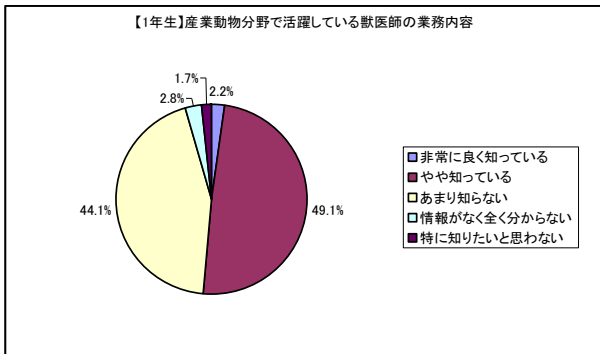


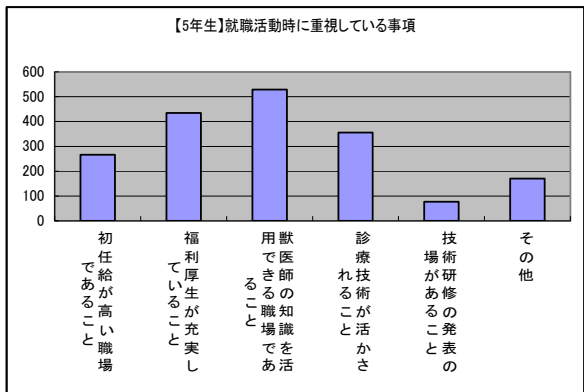
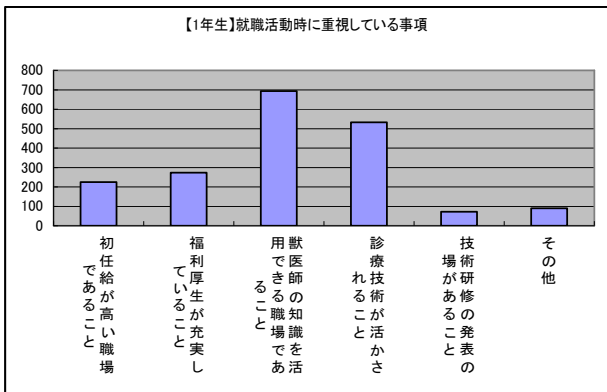
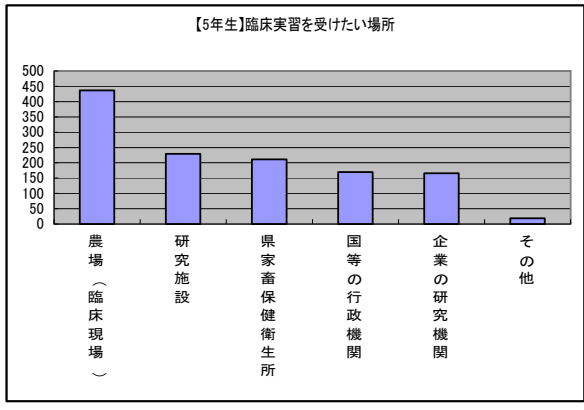
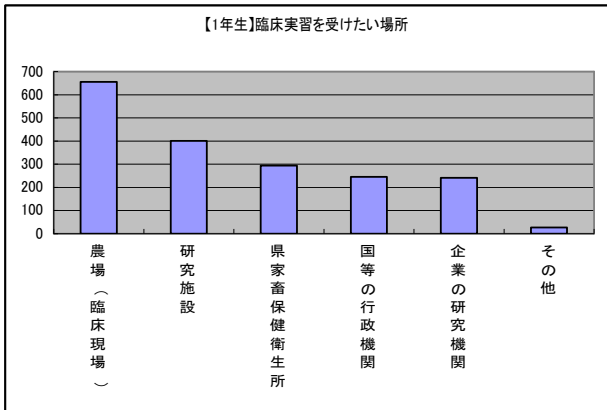
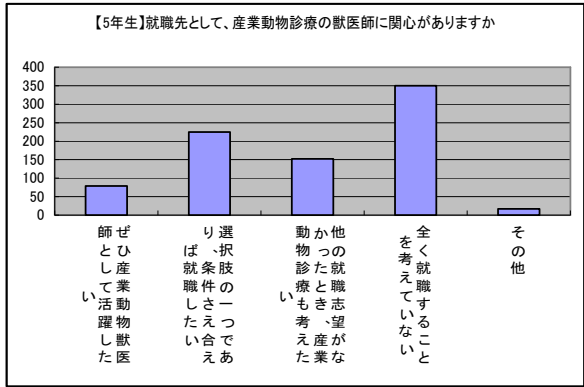
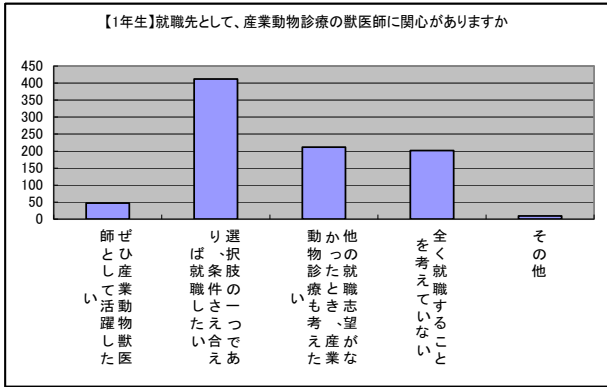
産業動物に触れた場所(複数回答)（1年生：1,088名（N=896名）；5年生：920名（N=832名）











5 産業動物獣医師の育成・確保関係事業の概要（24年度）

（中央畜産会）

事業名 対象		臨床実習等支援事業	民間産業動物獣医師防疫支援 体制確立対策事業（H23～25）	産業動物獣医師修学資金 給付事業（S53～）
産業動物獣医師の確保	獣医学生	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就業研修 （募集定員：200名） ・ 臨床獣医師等による講習会（12大学） <li style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 畜種別疾病講習会 ・ 理解醸成のための講習会 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 就学資金の給付 10万円（私大12万円）/月 （継続31名）
	新規獣医師		<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規獣医師等防疫基礎研修 (1) 臨床基礎研修費 （3か月、30名） (2) 海外家畜伝染病の集合研修 （5日間、30名） (3) 特定産業動物の集合研修 （3日間、30名） 	
産業動物獣医師の育成	現職獣医師		<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間診療獣医師防疫支援技術向上研修 (1) 家畜伝染病普及・啓発資料の作成 (2) 海外家畜伝染病等危機管理対策セミナーの開催 （4か所、120名） (3) 防疫支援等技術研修 （2か所、50名） 	

6.産業動物就業研修受講者の就職状況

下表は、平成24年度に卒業した者で、産業動物就業研修*を受講した者について、就業状況を関係大学に照会して調査したものである。

卒業年度 就職先等	24年度		主な就業先
	員数	%	
産業動物関係	62名	68.1%	都道府県市、農協・農業共済組合、飼料会社等、動物病院 他
小動物関係等	18名	19.8%	小動物病院、民間会社 他
その他	11名	12.1%	大学院進学、国試不合格等 他
計	91名	100.0%	

*産業動物就業研修の概要

・臨床実習研修 (100名程度)

【24年度開催場所】

酪農学園大学(牛10名)、帯広畜産大学(牛15名・馬15名)、岩手大学(牛15名)、麻布大学(豚10名)、
日本養豚開業獣医師協会(豚10名)、農業共済組合連合会(千葉県5名、兵庫県・愛媛県・鹿児島県各8名)

・行政体験研修 (100名程度)

都道府県の家畜保健衛生所等の行政分野における獣医関係業務についての体験研修

【24年度開催場所】

38都府県家畜保健衛生所